

静岡県立駿河総合高等学校

〒422-8032 静岡県静岡市駿河区有東3-4-17 ☎054-260-6688

活動団体 報道部・US 活動人数 6人 主な活動時間 休み時間や放課後／部活動として

高校生が未来の子供たちへSDGsと絡めた環境イベント

きっかけ

学校がユネスコスクールに認定されていることもあり、もともとSDGsに関心があったという駿河総合高校の6人。持続可能な社会を実現するためには自身の行動だけでなく、地域社会全体の取り組みが必要だという思いから、啓発のためのイベントやボランティア活動の企画・運営を行う、有志団体USを立ち上げた。コンセプトは「私たちが暮らしやすい明日を地球規模で考える」だ。



おもちゃは全部で4種類。ブンブンゴマやコマを作成した。

活動内容

これまで行った大きな活動は2つ。1つ目は、市内のショッピングモールで開催した、幼児・小学生向けのSDGsワークショップ。牛乳パックを用いて、工作おもちゃを作る企画で、1日限定のイベントにもかかわらず1000人を超える参加者が集まるなど、好評を博した。

2つ目は、市内外の企業から協賛を受けて開催したイベント「高校生と学ぶSDGs」。約20組の親子連れが参加し、SDGsや地球温暖化についてクイズで学ぶことができるプログラムや、段ボールを使ったコンポストづくりなどを行った。参加した児童からは「コンポストを使って、家でも植物を栽培したい」という声が聞かれた。

このほか、認知症を患っている高齢者やその家族を中心に情報共有を行う認知症カフェへの参加や、被災地への支援物資配布など、多岐にわたる活動を行っている。



生徒からSDGsについてのレクチャーを受けたあと、参加児童はクイズに答えた。

成果

生徒のみで企画から開催までを担ったことで、自身の成長を実現。活動の様子は、地元メディアでも取り上げられたほか、保護者からは「今後も継続してほしい」「楽しく学べる素敵なイベントだ」という反響もあり、学校内外でのSDGsの認知向上に貢献した。

現在は主に市内で活動しているが、今後は県、全国と活動範囲を広げること検討している。これまでのイベント開催での優れた点や反省点を押さえながら、よりパワーアップしたイベントを展開していく。

活動エピソード

SDGsワークショップでは、所属高校の1～3年生の生徒27人もボランティアとして参加。事前準備から当日の運営にも携わった。後日、ワークショップを訪れた児童と保護者から「自宅でも工作おもちゃ作りに挑戦した」という手紙が寄せられた。

今後の展望

活動にあたっては、規模を大きくするだけでなく、何のための活動なのかという目的をしっかりと定めることを重要視して、SDGsに関する視野を今以上に広げていく。また、活動を通じて同年代のアクションのきっかけになるよう、他校との関わりも増やしていきたいと考えている。